

琉球新報 2019.09.04 琉球新報朝刊 26頁 2社 1版 (全291字)

今帰仁村の墓所から持ち出されたとする遺骨の返還を琉球王家の子孫らが京都大に求めた訴訟を巡り、京大側が遺骨の存在を確認しようとした龍谷大教授の申し入れを拒絶し、山極寿一学長が一連の対応について「問題があった」と発言していたことが3日、関係者への取材で分かった。

龍谷大教授で訴訟の原告の松島泰勝氏によると、2017年5月、京大総合博物館に遺骨の有無を確認しようとしたが「すべての館蔵資料について、個別の問い合わせには応じていない」と拒絶された。その後「本件での来訪を遠慮してほしい」との文書が京大から送られ、警備員に本部棟入館を阻止されるなどの対応を受け、提訴に至った。

(共同通信)

琉球新報社

本サービスにおける著作権および一切の権利は株式会社ジー・サーチまたはその情報提供社に帰属します。
本サービスの出力結果を複製、複写、出版、販売または第三者に対し配布することは禁止されています。